

うるおい

8 合併協議会だより

2002.9.10 発行

発行/柏原町・氷上町・青垣町・春日町・山南町・市島町合併協議会

〒669-3309 兵庫県氷上郡柏原町柏原525-1 tel.0795-73-3122 fax.0795-73-3123
ホームページアドレス http://www5.nkansai.ne.jp/org/h6gappeik/
E-mail h-gappeikyoku@mxc.nkansai.ne.jp

ほくには、好きな村や場所がいっぱいあります。とくに、しょうてん街や学校が好きです。それに、ほくのかよっている黒井小学校の近くに、つぼねの里のお寺や、しろ山があります。それから、ほくの住む春日町は、クリーンセンターでゴミをしょ理したり、リサイクルをしたりして、自然を守っています。ほくの家の近くには、インターがあって、こうそくがあるので、とてもべんりです。野村のうんどう公園にある万松寺には、カメがたくさんいます。下水道もできあがり、カヤハエが少なくなっただけでも毎日がきもちいです。

「支援ボランティアのNさんへ」
春日じんじやに行つて、何の植物かわからない時、図かんで調べてくれてありがとう。勉強なのに楽しかったです。それもNさんのおかげだと思っています。

町のじまん調査
お礼の手紙より
春日町立黒井小学校
3年 久下 大貴くん
「こうぜん寺のおしようさんへ」
前、花祭りのことと、ねはんさんのことを教えてくださってありがとう。ございました。テレビ会ぎでそのことを他の小学校の子に教えてあげました。

春日町立黒井小学校
4年 竹村 大樹くん

春日町立黒井小学校
3年 竹内 美香さん



テーマ
「私の町」
こんな所が好き。

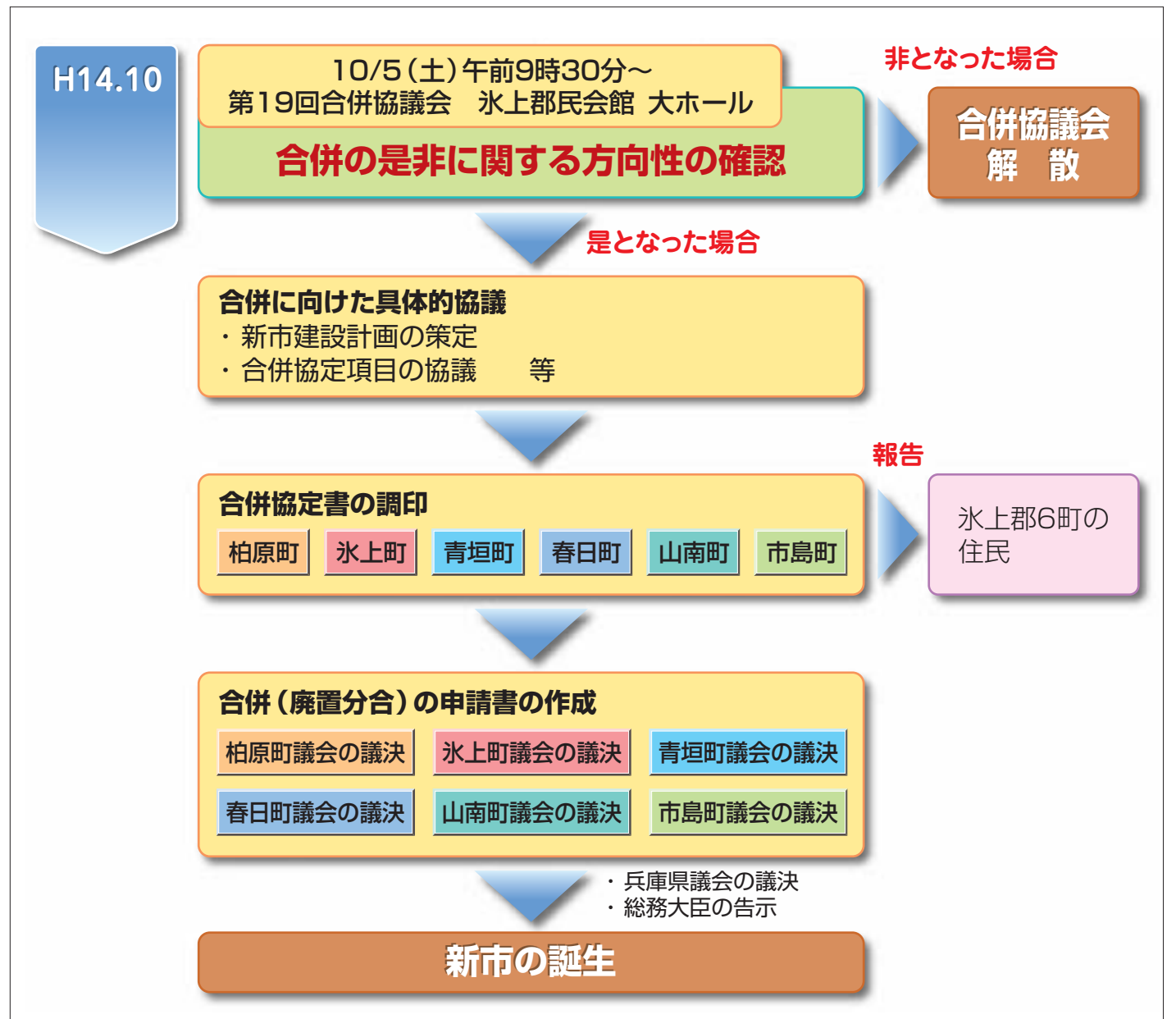


私の町の良い所は、自然が一杯ある所です。
春には春の七草が採れ、夏にはホタルやクワガタがいて、秋には周りの山が見事に紅葉しています。
また、大きなつり橋と川の景色が美しい川代公園もあります。
上久下小学校には「いきもの新聞」という新聞もあります。
私の中で一番好きな自然は、ホタルです。ホタルは少しの間しか見られないけど、たくさんいて、とてもきれいです。二番目は、紅葉です。桜の木も周りを囲む山々も衣がえをするように美しい紅色や黄色、オレンジ色になりそれは見事です。
私はこの自然のあるまちが大好きです。

「私の町の良い所」
山南町立上久下小学校
6年 竹安 希望さん

「私の町のいい所」
山南町立上久下小学校
6年 小林 瑞季さん
上久下には、「川代公園」というきれいな所があります。大きな吊り橋があって、川の流れの美しいさ山川が流れています。
もう一つは、座禅石公園という所があって、きれいな山の水が流れていて、沢ガニや魚などが多くいます。
それに、周りは山ばかりの自然環境のいい所です。クワガタやカブト虫がたくさんいる所も多くあります。都会とは、また違ったいい所です。
社会に出てから「出身地は」と聞かれたら、私は「自然たっぷりの山南町上久下という所で育ちました」と自まんでいきます。

合併協議会の今後の予定



あとがき

今や、財政のみならず政治、社会と直面している問題は数多くある中で、真剣に合併論議がなされています。10月には、是非の方向性が確認され、いよいよ佳境に入っています。さて、8号につきましても、郡内の小学生の皆さんの「私の町、こんな所大好き」を載せています。人と自然が共生できる環境、大切にしたいですね。次回発行分(12月)については、氷上町と青垣町の小学生を取材させていただきます。お楽しみに。

北摂丹波の祭典ホロンピアを機に発足したディスプレイスカーパー氷上、現在七名が観光案内で頑張っています。
日本一低い中央分水界のある水分けをはじめ、約二十mにも及ぶ独鈞の滝のある岩龍寺、仏師の里の達身寺、隆盛時には末寺が六十余寺もあったと言われた円通寺、外に高山寺等々。
氷上町を訪れる観光客の案内をはじめテレビなどの取材に応じて、氷上町のPRに努めています。今後、郡内各町との連携を保ちながら要請があれば丹波の人情味をそえ、語りつないで行きたいと願っています。



人とふれ合いながら、
わが町をPR
グループディスプレイスカーパー氷上

住民説明会の内容

多くの方に住民説明会に来ていただきありがとうございました。皆様の意見を集約して、今後も合併の問題についての議論を進めていきます。

6月4日から7月12日にかけて6町25箇所で住民説明会が開催され、全部で2,916人の参加者がありました。

柏原町	● 6/4・5に開催 ● 2校区 出席者:229人
氷上町	● 6/7・9・11・13・15に開催 ● 5校区 出席者:756人
青垣町	● 7/2・5・9・12に開催 ● 4校区 出席者:311人
春日町	● 7/1・3・5・8・10に開催 ● 5校区 出席者:525人
山南町	● 6/14・15・16・17に開催 ● 4校区 出席者:577人
市島町	● 6/19・20・21・24・25に開催 ● 5校区 出席者:518人



住民説明会の様子



住民説明会での主な質問・意見

Q 1町でも反対した場合、その他の町で合併するのですか？

A 今回設置された合併協議会は6町がそろって合併するかしないかを前提にしている機関であるため、10月に「非」の方向になった場合や最終的に各町議会で1町でも否決された場合には、6町合併は中止になります。

Q 合併した場合、市の名前や庁舎の位置はどうなるのですか？

A 現段階では、合併の是非の方向性の確認ができていないため、新しい市の名称や庁舎位置といった具体的な事項は検討していません。10月に是非の確認が行われた後に、合併協定や新市建設計画の項目として検討していくことになります。

Q 合併すると町の残っている事業はどうなりますか？

A 合併が「是」となれば、新市建設計画の策定に取りかかります。その中で、今後、新市として実施すべき事業について、皆さんからの意見を踏まえながら協議していきます。

Q 合併した場合、公共料金は上がるのですか、下がるのですか？

A サービスの質と料金は連動するものですので、新市においても適正な水準になるよう検討が必要です。今後、「是」の方向になった場合に、新市として適正な水準について協議していきます。

その他の意見について

- 合併後周辺地域に光があたるような、まちづくりをお願いしたい。
- 合併後、今までとおりのサービスが受けられるようにしてほしい。
- JRの現ルートによる早期複線化をお願いします。
- 道路整備などのインフラ整備が遅れている。合併した

- ときに周辺地域が取り残されないように整備を進めてもらいたい。
- 駅と集落を結ぶコミュニティバスや高齢者・障害者・病人等のための福祉バスを整備してほしい。
- 総合病院がない地域があるため、建設・誘致を進めてほしい。

※他にもたくさんの方からご意見を頂きました。

氷上郡の財政問題について、前回をおさらいしながら、引き続きご説明したいと思います。

氷上郡の 今後の見通し

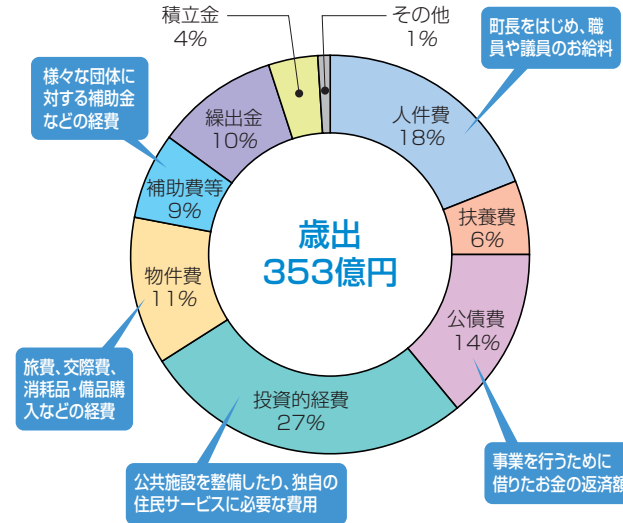
前回のおさらい

前回は、各町が合併しなかった場合、「入ってくるお金」が減り、「出ていくお金」が増えることが考えられ、住民の皆さんへのこれまでのサービスを維持したり、新たな事業を実施したりすることが難しくなることをお示しました。

しかし一方で、合併した場合についても、お金の無駄遣いをしてはいけません。いすれ厳しい状況を迎えてしまいます。

すなわち、最も重要なことは、合併する、しないに関わらず、いかに必要な部分に必要なお金を使いながら、効率的な財政運営を行えるにかかっている点です。

そこで今回は、「出ていくお金」に焦点を当て、合併協議会で効率化に向けて、どのような話し合いを行っているのかを、下の図を見ながら、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



左のグラフは、氷上郡6町が平成12年度に使ったお金の内訳を示しています。割合の大きなものとして、人件費、公債費、投資的経費（普通建設事業費）、物件費などがあげられます。人件費、物件費、公債費などが定期的に支出しなければならぬ経費を抑制しながら、新しい施設設備などの投資的経費（普通建設事業費）や地域の個性あるまちづくりを行うための財源を確保し、行政サービスの維持向上を図れる財政基盤を築いていけるかがポイントとなります。

町長・助役・収入役・議員などの人件費削減効果

※合併した場合、現在の6町の各職の最高額で試算

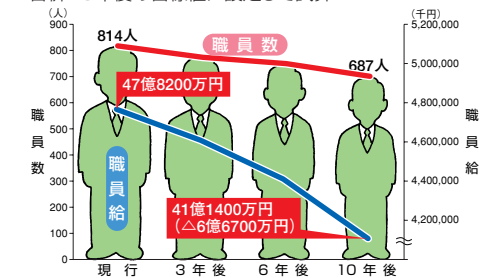
6億3600万円 (287人)	1億9300万円 (98人)
町長	6人
町助役・収入役	12人
町議会議員	96人
教育委員会委員	5人
農業委員会委員	110人
その他	58人

削減 △4億4300万円

市長	1人
市助役・収入役	2人
市議会議員	30人
教育委員会委員	5人
農業委員会委員	46人
その他	14人

役場職員などの人件費削減効果

※平成12年度定員管理調査における類似団体職員を合併10年後の目標値に設定して試算



合併協議会では、例えば歳入に占める割合が大きい人件費について、合併によってどの程度削減が可能か試算してみました。その結果、町長・助役・収入役・議員などの合計を6町の最高額で試算すれば、年間約4億4,300万円、

役場職員については、他の類似都市の職員数を参考にしながら、合併後徐々に人数を減らしていくと想定すれば、合併10年後には年間約6億6,700万円の削減効果があることが分かりました。

簡単なことではありませんが、物件費や補助費といった経費は、人件費同様合併することによって、ある程度の削減が可能ではないかと考えられています。今後

も、合併協議会において、6町間の話し合いを進め、どの程度の合併効果が見込めるのかを慎重に協議し、皆さんにお知らせしていきたいと考えています。